



2014 FIFA WORLD CUP 開幕戦ブラジル対クロアチア戦の日本人主審の判定に対し国によって色々な意見がでています。欧州と日本のサッカーのルールの違い？や不公平という報道が目につきます。同じ審判員の意見なら聞く耳をもちますが、報道の自由にも配慮が必要な気がします。試合において審判員は安全第一を心がけています。そのうえで出場者も観戦者も楽しめるように、ルールに沿ったプレーを見極め、判断する役割を唯一担っています。もう少し審判の意見が尊重されてもいいのでは。

たしかに過去の日韓 WCup での韓国チームは疑惑のデパートでした。欧米列強からは未だに捏造国家と嫌われ続けて真面目な一般市民は気の毒でもあります。

さて、日本は 2020 年の東京オリンピックに向けて世界からますます注目されていきます。先人者が苦勞して築きあげた日本ブランドを汚すことなく、さらに質を高めていきましょう。

ところで、2019 年には国際ラグビー評議会 IRB RUGBY WORLD CUP も日本開催予定です！



幸運をもたらす歯並び？（黒川）



歯並びにも幸運をもたらすという言い伝えがあります。どんなに素敵な歯並びなのでしょう？

欧州では前歯2本の間に隙間が空いている、すきっ歯は幸運をもたらすといわれます。特にフランスでは「Dent du bonheur（幸運の歯）」と呼ばれ、前歯の隙間から幸運が舞い込んでくると信じられており、わざわざ歯科矯正治療をしてすきっ歯にするひともいらっしゃる。フランスの支配下だった西アフリカやセネガルでも美人の証だとか。すきっ歯だけに「スキ」のある不完全な美しさがかえって魅力的に映るのかもしれない。有名人では、バアネッサ・パラディ、マドンナ、ジェーン・バーキン さんなどにスキマアリ。Web で検索してみましょう！

しかし、日本を含むアジアではマイナスイメージです。お金が貯まらない、幸せが逃げるなどを連想させます。乳歯から永久歯の交換期間中でも隙間があるとその隙間が将来閉じるかどうか？ と、当事者の子供さんよりも心配な両親からさまざまな質問を受けます。

また、八重歯を可愛いと思う日本人がいますが、欧米では吸血鬼のイメージです。風刺画などで悪人を描くときは悪い歯並びにするそうです。美しい歯並びは権威の象徴なのでしょう？

というわけで美意識も世界は広し、地域により違いがあるようです。皆さんはどう思われますか？

イマドキの就職活動では履歴書やエントリーシートに貼る写真に有名な写真館でメイクして髪型、背景の色など加工修正して添付するようです。近い将来には受験や就職のために歯列矯正する人達も増える気がしますが、本来もっている自身の魅力は見た目だけではないはず。

見た目の歯並びだけでなく、虫歯や歯周病をしっかりと予防することが大切です！

口内炎はなぜできる？（伊藤）



10代から80代の男女に「口内炎ができたことがあるか」と尋ねたらほとんどの人が経験者でした。その中には口内炎ができやすい人もいます。発生メカニズムは正確には分かっていませんが免疫異常が関わっているという研究報告もあります。

原因は疲労やストレス、唾液不足、ビタミン不足、粘膜の傷など色々考えられます。

その原因により粘膜が荒れ、細菌やウイルスが繁殖して炎症が起こります。それが口内炎です。

口内炎は原因によって分類されます。

アフタ性口内炎

一般的に口内炎と言われるもの。2～10mm程度の丸くて白い潰瘍が数個出来るのが特徴。原因ははっきりと分かっていませんが、免疫力の低下、休養不足、栄養不足などが考えられています。

カタル性口内炎

いわゆる物理的刺激が原因となって起こるもの。むし歯で欠けた歯や入れ歯の不具合や矯正器具の刺激、頬の内側を噛んでしまった時などに細菌が繁殖してできるものです。粘膜と口内炎との境界が不明瞭で赤く腫れ、ただれた様な状態になります。

ウイルス性口内炎

ウイルスの感染によるもの。口唇ヘルペスや手足口病の症状がこれに当てはまります。

抗がん剤による口内炎

抗がん剤の使用により免疫力が低下するためにできるもの。抗がん剤の副作用としては高い頻度で起こるものです。

治療法

口の中を清潔にする事が一番です。

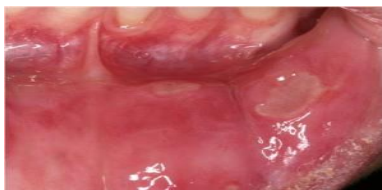
原因ははっきりしないことが多いので、消毒効果のあるアズレンが配合されたうがい薬や軟膏を使いましょう。カタル性口内炎の場合、むし歯の治療や詰め物を治すことで改善されます。口内炎と間違えやすい病気には全身疾患のベーチェット病や口腔がんなどがあります。自分で判断せずに歯科医に相談しましょう。

○ アズレン配合の商品（薬局などでも入手可能です）

・ラフェルサ口内炎軟膏 ・佐藤口内軟膏 ・トラフル軟膏 ・アズレン軟膏

○ ステロイド軟膏（医療機関で診察後に処方されます）

○ レーザー治療（当院でも処置可能です）



アフタ性口内炎



矯正器具によるカタル性口内炎